

児童発達支援事業所



2024. 5月号

Eメール koroiba_mori@basil.ocn.ne.jp

ホームページ <https://minnanomori.jp/>

保護者懇談会へのご参加ありがとうございました

保護者懇談会の後半では、グループに分かれ同じクラスや曜日の保護者の方との顔合わせや交流を行いました。お子さんの今好きな遊びや物、最近お出かけした場所など話がはずみましたね。

保護者会や親子行事を通して、保護者同士の顔が見える関係づくり、交流できる場づくりをしていくことで、保護者同士の繋がりを密にし、安心して子育てを行っていただけるような支援をしていきたいと思っています。

私たち職員も子育ての悩みや関わり方について一緒に考えるのはもちろん、お子さんの成長を一緒に喜んだり発見したりしながら『保護者の方と一緒に子育てを』していきたいと思っています。連絡ノートや送迎時、個別相談などでお子さんのお話をいっぱい聞かせてくださいね。

保護者懇談会についてのアンケートの中で「他のお子さんの苦手なこと、得意なことを知りたい」という声もありました。「わが子はころころ伊場ではどんな様子なのか」「周りの友だちはどんな子か、関わりはどんな様子なのか」などを実際に見て、保護者の方に知ってもらえる機会として療育参加を随時受け付けています。希望される方はぜひ職員までお声かけください。



季節の食べ物を味わう（柏餅）

子孫繁栄や家の存続の願いを込めて、端午の節句に食べられるようになったといわれています。“柏餅とはどんな形・味か”など、子どもたちがイメージや期待感を持ちながらクッキングを楽しめるよう、ご家庭でもぜひお子さんと一緒に食べてみてください。



☀️たいよう☀️

〈自然の中で遊ぶ〉

4月のたいようクラスは園庭東側の通称“森”に出かけ、自然の中でたっぷり遊びました。春の森にはタンポポやダンゴムシなど、なじみ深い生き物がいっぱいです。

うっそうと草がしげる森を見て、始めは「こわいー！」と動けなかった新入園のお友だちも、きれいに咲くタンポポの花に関心を持ち、次第に心を開いていきました。もっとタンポポが欲しい！と奥まで歩いていけるようになりました。自然は子どもの五感に働きかけ、感性を揺さぶります。今年は森に鯉のぼりも飾られ、子どもたちにとって大好きな場所になりました。これからも森の探検を楽しみたいと思います。

〈夏野菜を植えました〉

今年も夏野菜の栽培が始まりました。たいようクラスではキュウリの苗を植えました。「さわってごらん」と苗を目の前に置いてみると、「サラサラしてる。あと（ツルが）クルッてしてる」とツルの存在にも気がつきました。一人ずつスコップを持ち、みんなでプランターの中に土を入れていきました。その後には大人が苗を植えかえる様子をじっと見ていました。毎日水やりをしながら大きく育て、クッキングも楽しみに待ちたいと思います。



☆ほし☆

〈自由遊び～玩具を介して友だちと遊び込む～〉

登園後や食後に、子ども達が好きな遊びを選んでじっくり楽しむ時間を設けています。クラスが変わり新しい友だちが増えたことで、まだ緊張感がある子もいますが、遊び始めると自然に仲間に入って一緒にひとつの物を作り始めていたり、同じ空間で同じ遊びを楽しんだり、友だちのことを意識して遊ぶ様子が見られます。イメージを共有して遊べる時があれば、まだまだ思いが通じ合わずに怒れてしまうこともありますが、職員が仲立ちをして双方の気持ちを整理することで、継続して遊びを楽しめるようにしています。今後も友だち同士での遊びが広がっていくように見守ったり、必要な場面で声をかけたりして、より深く関わりあえるようになっていければと思っています。

〈散歩～身体を動かす楽しさを感じる～〉

暖かくなり外遊びが気持ち良い季節になりました。「おそといきたーい」と子ども達からも声があがり、園庭遊びや森遊び、公園へ散歩に出かけています。公園までの道のりは、道路の渡り方をひとつひとつ丁寧に確認したり、風が強いね、眩しいねなど季節を感じたりしながら散歩を楽しんでいます。公園ではしっぽ取りや鬼ごっこなど思い切り身体を動かしたり、遊具遊びや自然物を収集したりもしています。今後も天気の良い日には外での遊びを十分に楽しみ、身体づくりも意識していきたいと思っています。